

(新連載 知っておくと、お得情報) **第4弾**
【言語能力調査結果】で、実態が明らかに
調査結果が、驚くべき数値を示した!!

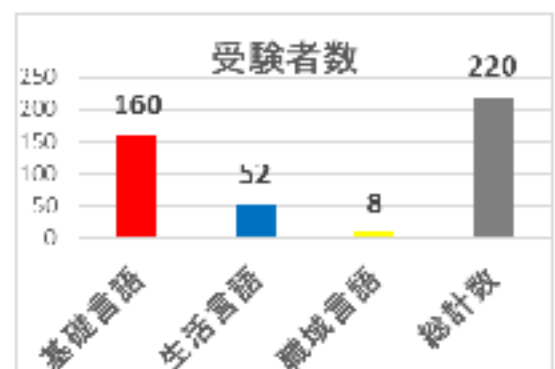
- ※ 【月報】68号から70号までで【国家試験受験能力到達度試験】の「基礎言語能力問題」と「生活言語能力問題」、さらに、「職域言語能力問題」から言語能力段階別に、継続的にテストをした。
- ※ その結果、【受験者数と、言語能力の到達度】を具体的に「数値」で把握することができた。

- ※ その内容を、第4弾として集約し、受け入れ機関の今後の教育指導に役立つように分析して、解説を加えた記事を、今号で情報提供することが可能となった。
- ※ 【調査結果】は、当初予想した以上に悪く、余りにも「言語能力のなさが明確」になったことで、今後のEPA受け入れにも、根本的な問題があると判明した。

I、「段階別受験者数」の傾向と、問題点を探る!!

- 弊社が当初想定していた受験者数とは異なり、特に、「基礎言語能力」に対する受験者数が、160人にも及んだことは驚きであり、「基礎言語能力」に対する関心度の高さを受け入れ機関の多数が持っていることを表していた。
- しかし、2回目の「生活言語能力」に対する受験者数は、表1に表したように「基礎言語能力」の受験者数の3分の1弱に激減していることが特徴だ。その原因は、本テストは「構文式」のテストであり、「構文能力」が十分でない限り、答えられない問題であったことにある。
- この傾向は、3回目の「職域言語能力」に対する受験者数の激減にも、関連していると言える。即ち、「テスト問題」に対する「読解能力」と併行して、それに答えられるだけの「構文能力」がなければ、「テスト問題対応能力」がないので、受験者数は、わずか8人に留まっていると、解析することができる。(表1参照)

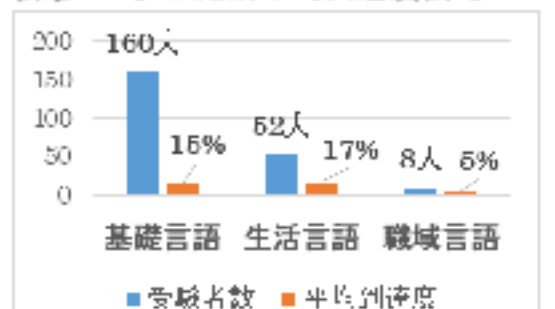
表1 【段階別受験者数】



II、「構文能力」がなければ、社会活動ができない!!!

- 表2では、【段階別平均到達度】を表しているが、3段階の言語能力の中で、平均到達度が一番高いのは、「生活言語能力問題」であった。しかし、この高いという「数値」は、わずか17%であり、総合的な言語能力としてみた場合には、「言語能力はほとんどない状態の受験者」と判断せざるを得ないのが実態だ。(表2参照)
- 3段階の言語能力の平均値は、12.3%となり、人間が社会で活動するための言語能力としては、不十分であることを示している。即ち、日本人の5歳児レベルの能力だ。それが故に、国家試験合格率が低い根拠ともなっている。

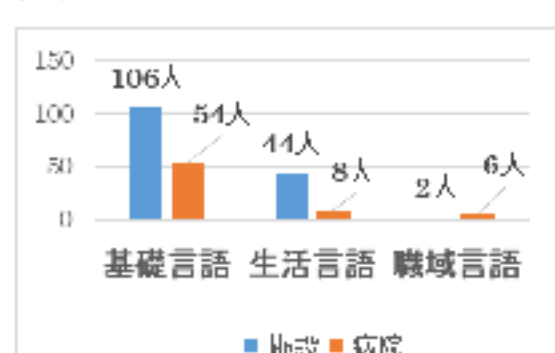
表2 【段階別平均到達度表】



III、【介護と看護の受験者数比較表】

- 表3を見ると、介護の受験者数の方が「基礎言語能力」では、倍近く多かった。しかし、「職域言語能力」では、逆転して看護が介護の2人に対し、6人と3倍の受験者数になっていることが特徴だ。(表3参照)
- 介護の受験者は、「基礎言語能力」と「生活言語能力」に関心が強くあり、看護の受験者は、「基礎言語能力」と「職域言語能力」に関心があることが判明した。
- 看護の受験者数が低い要因は、日本語力より専門知識に対する関心が、受け入れ機関に強いたためだ。その結果、受験者も専門知識や語彙に対する関心が強まり、「全体の言語能力の習得意識」が薄くなっていると言える。

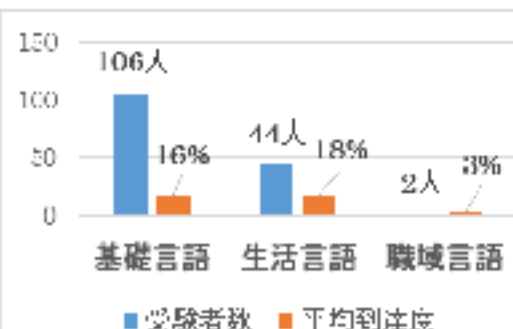
表3 【介護と看護の受験者数比較表】



Ⅳ、【介護受験者の言語能力は、日本人の5歳児レベル！】

- 表4は、言語能力の3段階に対して、それぞれの受験者数と到達度を棒グラフ化したものだ。
この表で特徴的なことは、「基礎言語能力問題」では106人であったのが、「生活言語能力問題」では44人と激減し、さらに、「職域言語能力問題」では、わずか2人に留まっていることに、注目する必要がある。
- 即ち、入職後1年以上経ても、言語能力は日本人の5歳児レベルにも達しない能力に留まっていることが判明した。その結果、「基礎言語能力」を基に使われる「生活言語能力」と「職域言語能力」は、不完全な表面的な学習の集積結果として、身につけているレベルと解析できる。その根拠は、「受験者数の激減と合わせ、到達度の低さを比較」し、その傾向を見て解析できるものだ。(表4参照)
- 特に注目しなければならない教育段階は、「職域言語能力」の段階で、わずか2人の受験者であるが、その到達度は3%と、無に等しい到達度を示していることだ。この結果は、現場の教育方針が、「人間の社会活動に必要な言語能力」を、体系的に教育していないことを如実に表している。

表4 【介護受験者数と到達度表】

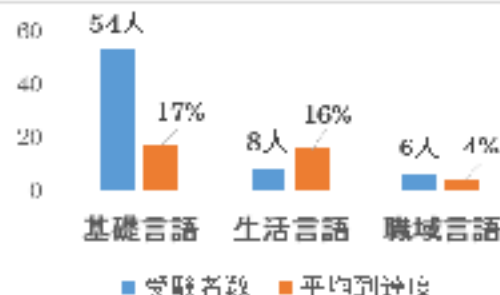


- ※ この現状を解決するためには、入職直後の受験者の教育方針を、【体系的に、そして、継続的に行う】という観点が必要不可欠だ。
- ※ 調査結果の背景には、受け入れ機関が十分な学習計画を立てずに、「場当たり主義的な教育」を行った結果と言える。

Ⅴ、【看護受験者の言語能力も、日本人の5歳児レベル！】

- 表4と表5を比較すると、大きな違いは、3段階別の受験者数にある。「基礎言語能力問題」では、看護受験者数は、介護受験者数の約半数で、「生活言語能力問題」では介護受験者数に比べて約5分の1にしか及んでいない。
- しかし、「職域言語能力問題」では、看護受験者数が6人に対し、介護受験者数は2人にすぎず、3倍になっている。「職域言語能力問題」で介護と看護が逆転していることは、看護分野でのEPA受け入れに対する考え方が、「専門知識偏重型」であることを示し、これが合格率の低さの原因だ。
- しかしながら、言語能力の到達度を表4と表5で比較すると、看護受験者の言語能力は、決して介護受験者の言語能力を上回っているものではない。即ち、同レベルだった。

表5 【看護受験者数と到達度表】



【調査結果から考えられる「国家試験受験能力」の対応策】

- 【対応策1】
「国家試験受験能力」を養うためには、必ず表6の視点で「体系的な学習計画」を立て、継続的に行うことだ。即ち、「基礎言語能力」を完全に身につけて、受験者に「日本語に対する理解力」と「日本語ができる自信」を持たせることが、最も重要な指導の基本要素だ。
- 【対応策2】
日本での生活を通じて、「日本に対する理解力（日本事情理解）」を、受験者が能動的に行動しながら、日本の事情（生活習慣・地域社会での決め事等）を体得することで、「国家試験問題の抽象問題」に対応する能力を、日常的に養い、過去問題の抽象問題を解かせることが必要だ。
- 【対応策3】
受験者には、いたずらに国家試験合格を意識させるのではなく、「日本語力と専門知識力」を基に受験すれば、「合格できる能力が養われること」を理解させるべきだ。また、実務を通じて専門語彙と知識を意識的に習得させ、過去問題等を正しく理解できる能力を養うべきだ。

表6 ※ 看護は2年目で准看合格合格に向けての体系的な学習計画



【総合的に考え、継続的に行う
観点が重要】

驚きの声特集

職員が指導しているが、学習意欲が高まらず、 どうしよう……！！

- 昨年12月に、インドネシア人を3名受け入れた。
【月報】を熟読しながら、現場で日本語学習を行っている。入職してすぐに、「10分間テスト」に参加して、【到達度試験】に正式に申し込んで学習させたいと思っていた。
- 法人本部に「学習支援金」がある旨を伝えた所、「職員で行うように」という指示で、脚下された。教材だけでも購入して学習ができたかと考え、本部にお願いしたが、それすら、叶わなかった。
- 仕方なく、事業団の教材を使いながら週一回、時間が空いた時に学習を見て指導している状態だ。しかし、入職当初よりは勉強もしていないし、日本語力も全然高まっていないし、担当としてもどうしたら良いのか、困惑している状態だ。

(大阪府・M施設)

テストは、「読解力」がなくてできなかった！

- 【月報】のテスト問題をやらせたが、時間がとても足らず、ほとんど白紙のため、送付しなかった。受験者に感想を聞くと、「問題の意味がよく分からなくて解けなかった」と言っていた。
- 施設内で一緒に解いてみると、会話の範囲では答えられることができた。しかし、【月報】によく書かれていたが、ワンワードで対応することは良くないとあったことを思い出した。このテストでも、やはり文で答えることができていなかった。

(岐阜県・K施設)

「赤字添削された結果」を見て、愕然とする！

- 【月報】に掲載されていた「基礎言語能力段階」の問題をやらせたが、白紙が何問もあった。しかし、そのままの状態に添削をお願いした。結果が送られてきたが、全頁に赤字だらけで、それを見て、余りのできの悪さに愕然とした。
- 日頃職場で受験者と会話をしているが、もっとできるものと、思っていた。やはり、会話の能力と文章で答える能力とでは、こんなにも違うのかと、つくづく「考察票」を読んで感じた。
- 今後は、できるだけ文章で書けるように、指導をしなければ、仮に合格できても、実務能力がないので、労働不足の戦力にならないと感じている。

(兵庫県・O施設)

「学習支援金」があるのに、教師を切る？

- 継続的に受け入れを行っているために、EPA候補者も随分、増えてきた。既に、10人を超えているので、管理や対応、そして、学習指導が大変だ。
- 以前の学習の仕方は、県が主催する神奈川県専門学校に通学させながら、さらに、近くのボランティアの日本語教師に指導をお願いしていた。しかし、今年になって、法人の教育方針が変更され、「学習支援金」があるにも関わらず、ボランティアの先生を切ってしまった。
- 法人の考えは、あれもこれもと行うよりは、一つに集中させて行ったほうが良いと考えている。しかし、日本語の上達ぶりがよくないのが分かっているのに、日本語教師がいなくなるのは心配だ。

(神奈川県・T施設)

「【月報】テスト問題」を職員がやってみた！

- 【月報】のテスト問題を受験者に実施させようと思ったので、その前に、私が自分でどんなものか解いてみた。時間を計ってやってみたが、意外と難しく、「これが基礎の問題か・・・。」と、戸惑ってしまった。解いてみたはいいいが、果たして、これで正解なのか？ どうなのか？ 自信がない。
- 受験者にやらせようと思ったが、到底無理そうなレベルなので、諦めた。もう少し経ったら、やらせてみたい。ことばの研究社が行っている【到達度試験】は、受験者はこの段階を一つずつこなせる能力があることに、実に驚いた。このような訓練を受けていれば、日本語能力も高まる訳が納得できた。(奈良県・K施設)

マークシートでは、本当の能力は分からない！

- 事業団のテストでは、よくできるレベルだったので安心していった。しかし、今回の「構文式テスト」では、ほとんどの答えが文章になっていないことが、テストを終えてすぐに気づいた。だが、ことばの研究社に送付して添削してもらった。
- 後日、真っ赤になった赤字入りの試験問題を見て、回収した時に気づいていた通り、ほとんどの文章が日本語になっておらず、受験者全員が0%に近い状態だったので、大きなショックを受けた。添削結果を「考察票」で詳しく指摘されて、その指摘の正しさに驚いた。
- 今回の試験を受けて、初めて受験者の日本語力のはっきりして良かったが、今までの事業団試験では、「本当の能力が全然分からない」のだということに気づいた。今までの考え方を一変しなければならない、と思った。(東京都・A施設)

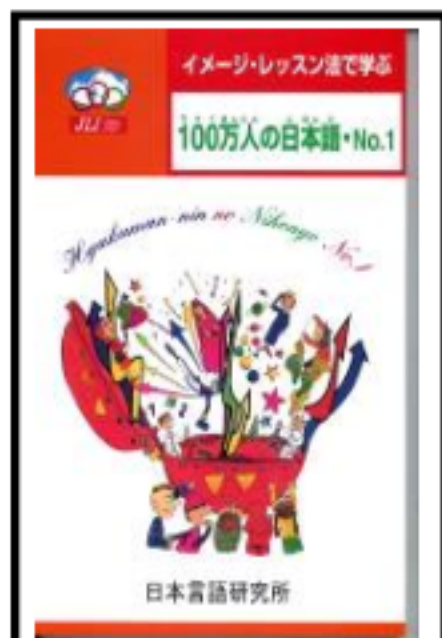
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

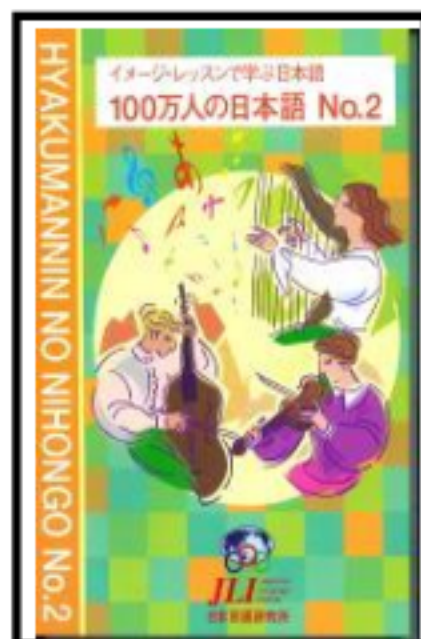
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

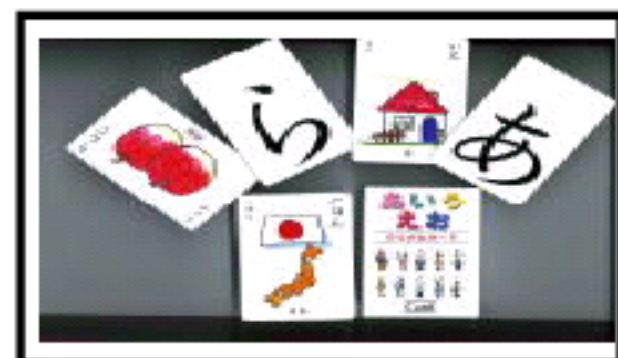
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもんことえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

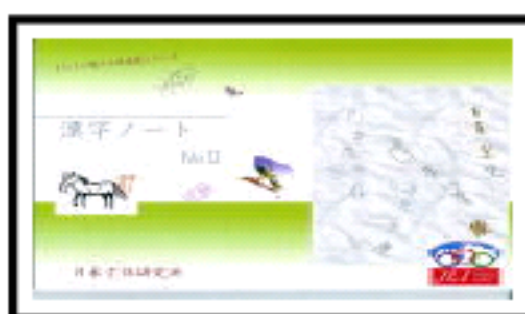
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵かき(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		